

凡		例	
記号	名称	備	考
☒	不活性ガスボンベユニット	83.91/20.9m³x68本 (窒素ガス)	
△▷	噴射ヘッド	霧外型 (GM型)	32A
☒	不活性ガス制御盤	7回路、自動手動切替方式、音声警報回路組込	
☒	選択弁	65, 80, 100, 125 A	
☒	起動容器箱	CO <sub>2</sub> 11人、圧カスイッチ、電磁ソレノイド φ4差し弁組込型	
■	非常電源装置	DC24V, 10AH	
○	放出表示灯		
□	スピーカ	トランペット型	
■	手動起動装置		
◇	ピストンレリレー	遠隔復帰型 (取付けは空調工事)	
△	不還弁		
⊙	ダンパー復帰弁箱		
○	定温式スポット型感知器	1種 70℃	
Ω	終端器		
□	ジョイントボックス		
□	安全弁		
—N—	不活性ガス用配管	JIS-G-3454 (B) sch80	
-----	銅管	JIS-H-3300 4φx6φ	
----	電線電線管	特記無きは HP1.2	

註記

- ◇ 工事区分  
(不活性ガス消火設備)  
○一次側電気工事、自火報受信機に至る移報工事、給排気ファン及び  
関連空調機器停止用電気工事、排気装置 — 電気工事  
○その他、関連機器停止用電気工事 — 電気工事  
○錠圧開口部工事 — 建築工事
- ◇ 自動起動方式の火災信号は、窒素ガス消火設備感知器(熱)と自火報用感知器(煙)の2信号によるAND回路とする。

不活性ガス消火設備

階数	防護区画名	容積 (m³)	容積係数 (m³/m³)	消火薬剤量 (m³)	錠圧開口部必要面積 (m²)	放出容器本数 (83.1/20.9m³本)	安全濃度 (%)	酸素濃度 (%)	放出時間 (min)	使用ヘッド サイズ	メイン管 サイズ
B1F	機械室	2671.4	0.516	1378.5	0.7	68	40.35	12.53	1	32A	125A
B1F	弱電電気室	528.4	0.516	272.7	0.2	14	41.60	12.27	1	32A	65A
B1F	倉庫	1390.3	0.516	717.4	0.4	36	40.88	12.42	1	32A	100A
B1F	電気室	1171	0.516	604.3	0.3	30	40.55	12.49	1	32A	100A
B1F	熱源機械室	2405.2	0.516	1241.1	0.7	62	40.74	12.45	1	32A	125A
B1F	冷凍機室	1401.5	0.516	723.2	0.4	36	40.63	12.47	1	32A	100A
B1F	防災センター	642.6	0.516	331.6	0.2	17	41.55	12.28	1	32A	80A

